

研究会「原始惑星系円盤から惑星へ」

日程：2014年3月5日(水)～3月7日(金)

場所：CPS (惑星科学研究センター)

神戸大学統合研究拠点 3階神戸市中央区港島南町7丁目1番48

研究会プログラム

円盤ダスト進化研究の現状と戦略	田中 秀和
原始惑星系円盤におけるシリケートダスト成長問題の検討	山本 哲生
ダスト衝突時のイジェクタ量について	和田 浩二
原始惑星系円盤に惑星が作るギャップ構造について	金川 和弘
巨大ガス惑星の最終質量：最近の数値流体計算を踏まえた再検討	谷川 享行
円盤形成時および乱流円盤におけるガスと氷の組成	相川 祐理
The organic-rich carbonaceous component of dust aggregates in circumstellar disks: Effects of its carbonization Kobe2014-presentation on infrared spectral features of its magnesium-rich olivine counterpart	木村 宏
同サイズ微惑星の衝突破壊に対する衝突角度依存	荒川 政彦
ALMA のこれまでの観測結果と今後の展望について	百瀬 宗武
変光観測用赤外カメラの開発と SEEDS の現状について	深川 美里
Disk lifetime and disk fraction	大澤 亮
銀河系スケールでの中質量星の円盤寿命	安井 千香子

SPICA による円盤の観測

尾中 敬

ALMA データアーカイブを活用した円盤研究の推進

塚越 崇

原始惑星系円盤の詳細構造とモデル

武藤 恭之